





# 読書から学びとる魂

## 読書感想発表会

人生を有意義におくるには、希望をもち、義み、苦しみ、克服しなければならぬ。幸福は梨の花の白々と咲くようにも、落葉する冬にもあるのである。

恩師のいわれた「汗の流さぬ勤勞に餘りはない、生涯正直であれ」という言葉に盡きると思う。

正直、健康、まじめに働く、それが良いのではないか。アリサの悲恋をジエロムが回顧する形で書かれていたが、回想するだけで、そこにジエロムの自己批判がないと思つた。

浦井さんは「青春の音」という書を映画とシナリオと両方してみたが、疑問に思うことはよく勉強し、サークル活動

一人の思想、思考を養成するは、まづ良書を読むことが大切である。市教委と市立図書館の共催により市公民館で去る二十九日読書感想発表会が催された。

この会は参加者の発表にあつては、まづ良書を読むことが大切である。市教委と市立図書館の共催により市公民館で去る二十九日読書感想発表会が催された。

この会は参加者の発表にあつては、まづ良書を読むことが大切である。市教委と市立図書館の共催により市公民館で去る二十九日読書感想発表会が催された。

### 家族計画

わが国において家族計画が、人口問題解決のために絶対必要とすることは申すまでもないが、総理府統計局で発表された昭和三十年国勢調査の一部抽出結果によると人口構成はピラミッド型から釣鐘型に変ぼうしつつあり、出生率が減少して

らなないだろう。県衛生部で発表した衛生要覧により昭和二十九年中の人工中絶を調べてみると本県で一六、四一八件、石岡保健所管内では一、〇三〇件で本県の六%、最高は土浦管内の一%、最低は大子管内の一%となつてゐる。



人工中絶は全国の統計をみると年毎にうなぎ上りの数字を示し、これにいわゆる間

### 歳末助け合い運動

私たちの周囲には、困窮な家庭、貧乏な家庭、病める人々、老若男女、多岐にわたります。市福祉協議会、市民会館、市民センター、市民の温かい相互扶助の精神にアツピールし、苦難の生活に悩む人々が少しでも明るい未来を迎えようとする運動を、是非御参加をお願いします。

期間 12月1日～31日

### 愛の手をさしのべよう

石岡保健所では同所内に優生保護相談所を設け、また受胎調節実地指導員を各地区に派遣し、活潑な活動をみせている。個人よりは集団希望が多し、先月の集団指導は二十四件に達しているという。

### 今が財布の締めどころ

#### 負けないうて張切る子供銀行

わが国の経済は昨年あたりから数量景気といわれたほど、物價は安定し、比較的物價が安定的な状態が続いている。しかし、まだ十分とはいわれませんが、今後はますます安定します。

- ① 同情袋による募金(各地集区駐在員さんによつてめられます)
- ② 施設慰問(保護施設または入院している困窮者の慰問)
- ③ 集つた皆さんからの協賛(お集りなさい)
- ④ 社会福祉協議会の方々に分けられます。

### 提唱

生活のムダを今年の家庭計簿によつて反省し、来年の生活設計に役立てましょう。

年末年始の虚礼廃止につとめ簡素化をはかり、新生活運動を力強く推進し、生活の健全化を計りましょう。

### 妻

君は僕の妻であるといつても認められないかも知れません。新生活運動の成果により實質的な結婚式が行われてゐることは喜ばしいことですが、法律上の結婚は、婚姻届が受理されて初めて法律上の夫婦関係が成立する。結婚式を挙げたからといって婚姻届を出さなければ、夫婦関係が成立しない。下さい用紙は市戸籍課に用意してあります。

石岡保健所では同所内に優生保護相談所を設け、また受胎調節実地指導員を各地区に派遣し、活潑な活動をみせている。個人よりは集団希望が多し、先月の集団指導は二十四件に達しているという。

とりわけ農村地帯の婦人集団層が多く、器具の購入・貸借も相当なもので、技巧を要さない簡易なものが多い。さうであるが、この問題は人間生活の深奥にふれることであつて、やさしいことではない。それだけに文化的な住民の運動としてこれを進めていくことが必要ではなからうか。

◆出生		◆死亡	
町名	父の名	町名	死亡者
宮下	三郎	高橋	長女 須賀田信子
元真地	三郎	高橋	長女 須賀田信子
幸町	三郎	高橋	長女 須賀田信子
守木	三郎	高橋	長女 須賀田信子
若松	三郎	高橋	長女 須賀田信子
...	...	...	...

話されたことがあつたが、本当にそうです。今ではお金を使ふより貯金することが楽しみで、貯金の日はいつも忘れたいところがある。とリンゴのようなホホをほころばせて語つていた。

(写真三村小の供銀行)

心のゆるみは火事のもとは必ず火のもとを見廻りましよう